2025(令和7)年度の浜松市の決算について報告します

※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計などの計算が一致しないことがあります

● 決算額 7,267億円（一般会計4,208億円、特別会計2,250億円、企業会計809億円）

市の会計には、一般会計・特別会計・企業会計の3種類があります。法律により企業会計を除いて現金主義・単式簿記で行われており、各会計の決算額の合計は7,267億円（前年度比318億円増）となりました。

（単位:億円）

区分	2025（令和7）年度	2024（令和6）年度	前年度比
一般会計	4,208	4,038	170
特別会計	2,250	2,214	36
企業会計	809	696	112
計	7,267	6,949	318

● 財政健全化法による健全化判断比率

本市はいずれの指標も早期健全化基準を下回っており健全な状態であるといえます。今後も健全性を維持し続けるよう財政運営を行っていきます。

区 分	2025（令和7）年度	2024（令和6）年度	増減	早期健全化基準
実質赤字比率	黒字	黒字	—	11.25%
連結実質赤字比率	黒字	黒字	—	16.25%
実質公債費比率	2.6%	3.3%	△ 0.7ポイント	25.0%
将来負担比率	—	—	—	400.0%

● バランスシート【2026（令和8）年3月31日現在】

バランスシートは、土地・建物などの資産がどれだけあるのか、また将来の世代の負担となる債務がどれだけあるのかなどを示すものです。
市全体のバランスシートでは、一般会計、特別会計に加え、水道や下水道などの企業会計を含めた資産や負債の状況が分かります。

市民1人当たりの資産と負債
資産： 251万円
負債： 92万円

【市全体のバランスシート】

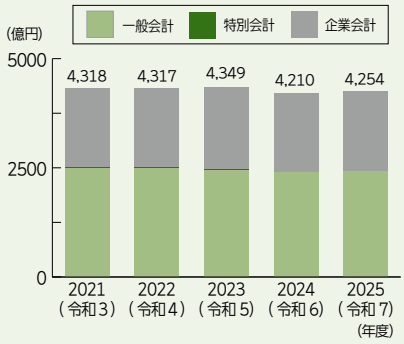
1 将来の世代に引き継ぐ社会資本		1 将来の世代の負担となる債務	
固定資産	1兆8,894億円（土地・建物など）	市債	4,804億円
		その他	2,335億円（退職手当引当金など）
		負債合計	7,140億円
2 債務返済の財源など		2 これまでの世代の負担	
現金預金	349億円	純資産	1兆2,332億円
基金など	229億円		
資産合計	1兆9,472億円	負債・純資産合計	1兆9,472億円

● 市債残高

市債残高は4,254億円となり、前年度比で44億円の増額となりました。

※ここでの市債残高は、満期時に一括して償還する市場公募債の償還準備のために行う減債基金への積立額を償還したものとみなしているため、バランスシートの市債の額とは異なります

【市債残高の推移】



2025（令和7）年度

浜松市の決算

財政課 ☎457・2273

市HP ▼ 財政のすがた 検索

※2025（令和7）年度決算に関する詳しい情報は「財政のすがた」で公表しています。「財政のすがた」は、市ホームページ、市政情報室（市役所北館2階）、または各区役所・行政センターなどで閲覧できます

広 告 ※広告内容に関する一切の責任は、広告主に帰属します。浜松市が推奨するものではありません。

【広告掲載に関する問合せ】㈱SBSプロモーション（☎456-0788）へ